

アスパラガ斯特報

令和7年6月17日
J A 中 野 市 園 芸 課
J A 中野市アスパラガス部会

露地栽培で茎枯病の発生が散見されます。病害の発生したものは取り除き園地外で処分しましょう。

1. 病害虫防除 [ハウス]

時期	薬 剤	濃 度	10a 当り 散布量	薬剤調合(水 100 ㍓当り)	対象病害虫 () 内は発生害虫
6月 下旬	カスケード乳剤	4,000 倍	300 ㍓	水 展着剤 (ハテパワ-) カスケード乳剤 100 ㍓ 20m ㍓ 25 m㍓	アザミウマ類、オオタバコガ ハスモンヨトウ
7月 上中旬	ダントツ水溶剤 シグナムWDG	4,000 倍 1,500 倍	300 ㍓	水 展着剤 (ハテパワ-) ダントツ水溶剤 シグナムWDG 100 ㍓ 20m ㍓ 25g 66g	アブラムシ類、アザミウマ、カミシ類 茎枯病、斑点病、褐斑病
7月 中下旬	ディアナ SC ダコニール 1000	2,500 倍 1,000 倍	300 ㍓	水 展着剤 (ハテパワ-) ディアナ SC ダコニール 1000 100 ㍓ 10m ㍓ 40m ㍓ 100m ㍓	オオタバコガ、ハスモンヨトウ アザミウマ類、コナジラミ類 茎枯病、斑点病、褐斑病、疫病

[露地] 春どりのみ

時期	薬 剤	濃 度	10a 当り 散布量	薬剤調合(水 100 ㍓当り)	対象病害虫 () 内は発生害虫
6月 中下旬	カスケード乳剤 シグナム WDG	4,000 倍 3,000 倍	300 ㍓	水 展着剤 (ハテパワ-) カスケード乳剤 シグナム WDG 100 ㍓ 20m ㍓ 25g 66g	アザミウマ類、ハスモンヨトウ オオタバコガ 茎枯病、斑点病、褐斑病
7月 上旬	ダントツ水溶剤 ジマンダイセン水和剤 (注1)	4,000 倍 500 倍	300 ㍓	水 展着剤 (ハテパワ-) ダントツ水溶剤 ジマンダイセン水和剤 100 ㍓ 20m ㍓ 25g 200g	アブラムシ類、アザミウマ、カミシ類 茎枯病、斑点病、褐斑病
7月 中下旬	ロブラール水和剤	2,000 倍	300 ㍓	水 展着剤 (ハテパワ-) ロブラール水和剤 100 ㍓ 10m ㍓ 50g	茎枯病、斑点病、褐斑病

(注1) ジマンダイセン水和剤は露地栽培かつ、収穫終了している圃場でのみ使用可能です。

[露地] 夏秋どり

時期	薬 剤	濃 度	10a 当り 散布量	薬剤調合(水 100 ㍓当り)	対象病害虫 () 内は発生害虫
6月 中下旬	カスケード乳剤 シグナム WDG	4,000 倍 1,500 倍	300 ㍓	水 展着剤 (ハテパワ-) カスケード乳剤 シグナム WDG 100 ㍓ 20m ㍓ 25g 66g	アザミウマ類、ハスモンヨトウ オオタバコガ 茎枯病、斑点病、褐斑病
7月 上旬	ダントツ水溶剤 ダコニール 1000	4,000 倍 1,000 倍	300 ㍓	水 展着剤 (ハテパワ-) ダントツ水溶剤 ダコニール 1000 100 ㍓ 20m ㍓ 25g 100m ㍓	カミシ類、アブラムシ類、アザミウマ 茎枯病、斑点病、 褐斑病、疫病
7月 中旬	アクセルフロアブル ロブラール水和剤	1,000 倍 2,000 倍	300 ㍓	水 展着剤 (ハテパワ-) アクセルフロアブル ロブラール水和剤 100 ㍓ 10m ㍓ 100m ㍓ 200g	ハスモンヨトウ 茎枯病、斑点病、褐斑病
7月 下旬	ディアナ SC ベンレート水和剤	2,500 倍 2,000 倍	300 ㍓	水 展着剤 (ハテパワ-) ディアナ SC ベンレート水和剤 100 ㍓ 10m ㍓ 40m ㍓ 50g	オオタバコガ、ハスモンヨトウ アザミウマ類、コナジラミ類 茎枯病、株腐病

裏面もご覧ください

2. 防除のポイント

＊樹勢の維持、又は樹勢低下している園地は、農薬散布時に「アミノメリット特青」500 倍を加用して葉面散布する。（その場合、通常の展着剤不用）

3. 茎枯れ病対策 **重要！！**

- 露地栽培を中心に、茎枯れ病の病斑が見られます。
- 発生が部分的で軽微な場合は病斑の出ている茎を除去して圃場外に持ち出す。
- 圃場全体で病斑が発生している場合は、梅雨明け後の7月中旬頃に全刈りし再立茎してください。

4. オオタバコガ対策

例年、7月中旬～8月上旬に発生が多くなります。7月上旬～8月上旬の防除を徹底することで8月下旬～9月上旬の発生ピークを抑えることができます。

5. 排水対策

滞水のしやすいほ場等では立枯症状や生育不良の園地が見られます、特に立枯症状は若年生株で発生が多く、一度発生すると手遅れとなりますので、降雨後、圃場内に水が溜りやすい場合は、排水溝を設けて停滞水の排水に努めて下さい。

6. 夏肥について

- ☆ハウスでは6月下旬～7月上旬に 10a 当り「追肥グリーン2号」を 20kg 追肥して下さい。
- ☆夏秋どり（露地）は、7月中旬と7月下旬に「追肥グリーン2号」を各 20kg 追肥して下さい。
- ☆夏秋どり（ハウス・省力型）は緩効性肥料を元肥で施用しているため、追肥は8月上旬から実施。

7. 茎葉管理

- ・立茎位置は株の中心～外周あたりに均等に出せると良い。（立茎箇所周辺に来年の萌芽群が形成されます）
- ・必要茎葉量を確保し、病茎や不良茎、倒伏茎は抜き取り園地外で処分してください。（園地で放置しない）
- ・下葉や横枝を整理し、通風・透光をはかる。
- ・立茎については、9月からの養分蓄積に備え、下記の茎数は最低確保する。なお、一般作型で夏秋収穫をする園地で6月上旬以降に立茎を始めた場合は、立茎数を6本程度とする。
- ・生育状態が悪く細茎が多い場合でも刈り取りせず立茎させ、必要本数は確保してください。
- ・先刈りは、展葉後先端が垂れ下がった頃に軽く行なう。

＊1 株当たり目標立茎本数の目安

	夏秋収穫する園地	夏秋収穫しない園地
立茎数	4～5 本	6 本程度

草丈150cm以上
太さL 級程度（4 本L ～3 本 2L クラス）の茎とする。

＊1m 当たり立茎本数の目安

夏秋どり	収穫する園地	収穫しない園地
立茎数	15～18 本 (長期どり 12～15 本)	20 本程度

8. かん水

かん水による生育、収量への効果は顕著ですので、定期的の実施して下さい。なお急激に多量のかん水は落葉等の生理障害や病気発生（根腐れ）につながるので注意する。